

2021 年度 株式会社資生堂 入社式 メッセージ(要旨) 代表取締役 社長 兼 CEO 魚谷雅彦

資生堂は、2021 年 4 月 1 日(木)に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場開催と WEB 中継を掛け合わせた開催方法で入社式を執り行い、株式会社資生堂、資生堂ジャパン株式会社、グループ会社に計 224 名が入社しました。魚谷社長からのメッセージ(要旨)は以下の通りです。

1. このような時代だからこそ、世界中の仲間と共に

本日、皆さんを当社の一員として迎えることができ、大変嬉しく思う。新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの環境はこの 1 年で大きくがらりと変わった。先行き不透明な状況が続き、不安な気持ちを抱えたまま、今日という日を迎えた方もいるかもしれない。この変化の大きな年に入社したことを 1 つの記憶として覚えていただきたい。これから社会人として生活していく中で、様々な困難にも直面すると思うが、そのような時こそ変化を恐れず、チャレンジし続けてほしい。資生堂は、皆さんの果敢な挑戦を全力で支援する。皆さんがベストを尽くすためのサポートは、私が最もやりがいを感じていることの一つである。同じ夢を持った仲間は世界中に約 4.6 万人いる。これから世界中の仲間と共に、「美」の力で多くの人々を幸せに、元気にし、社会に貢献し続ける会社をつくっていこう。

2. 美の力で世界を変えよう

資生堂は、「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(ビューティーイノベーションでよりよい世界を)」を企業ミッションに掲げ、本業であるビューティービジネスを通して、誰もが幸福や自由を感じ、多様で個性に溢れた世界の実現を目指している。今年 2 月に発表した、中長期経営戦略「WIN 2023 and Beyond」では、スキンケア領域へ注力し「世界で勝てる日本発のグローバルビューティーカンパニー」となるべく、さらなる成長と発展のために進化することを掲げた。日々変化が激しいこの時代に、この戦略を実現していくには、多様な意見や前例にとらわれないチャレンジなど、皆さんの新しい力が必要だ。真のダイバーシティが発揮されてこそイノベーションは生まれる。是非、新しいイノベーションの風をどんどん巻き起こしてほしい。資生堂は来年、創立 150 周年を迎える。これから 100 年先の資生堂をリードし、つくっていくのは皆さんだ。

3. 人生をより豊かなものに

仕事に費やす時間は人生の大半を占める。だからこそ、仕事を充実させることで、人生はより豊かなものになる。まずは資生堂で、「私はこれを実現したい」という目標を、自分から積極的に見つけてほしい。そしてその目標に向かって努力を重ね、常に成長し続けてほしい。それが資生堂を動かす何よりの原動力となるからだ。資生堂は、「PEOPLE FIRST」という考えのもと、社員が一人ひとりの力を積極的に発揮できる環境を整えている。キャリアを切り開くのは自分自身だ。志を見失わずにチャレンジし続けた先には、必ず成長の瞬間が待っている。そして皆さんには、資生堂という会社を通じて社会の役に立つ人材になってほしいと願っている。そのためにも、多様なキャリア形成のプラットフォームとして、資生堂を存分に活用してほしい。これから皆さんがそれぞれの志を貫き、多様なキャリアを自らデザインし、切り開くことを期待している。共に、新しい資生堂の未来を築き上げていこう。